



はてしない物語

家にも学校にも居場所を失った少年バスチアンが惹き込まれた1冊の本、「はてしない物語」。本の中のファンタジーという世界は滅亡の危機に瀕し、勇敢な少年アトレーユは世界を救うための旅に出る。不毛な未来を予感させる時代に、自分と向き合いかに生きていくべきかを問う物語。想像する力を信じれば自分の未来が見えてくる、ファンタジーの世界をお楽しみください。

【日時】 2020年5月16日(土)13:30 開場/14:00 開演
 【会場】 文化の家 森のホール
 【出演】 人形劇団クラルテ
 【原作】 ミハエル・エンデ
 訳: 上田真而子
 佐藤真理子(岩波書店刊)

【料金】 (前売)フレンズ会員 2,000円、一般 2,300円、
 高校生以下 1,000円
 (当日)一般 2,500円、高校生以下 1,300円
 ※全席指定 ※3歳未満入場不可

午後の佇みシリーズ 2020 ~映画音楽、名曲を歌う!~



平 日の午後に気軽に楽しめる人気シリーズ「午後の佇み」。今回の出演者は、アジアを中心に活躍するロン・メイヤー。優雅なピアノ演奏、心に響く歌声、情熱的で表現力豊かなパフォーマンスが、聴く人の心をわしづかみにします。映画の名曲、「マイ・ウェイ」「テネシーワルツ」「好きにならずにいられない」「追憶」のテーマなど懐かしいメロディを聴けば

古き良き時代にタイムスリップ! 思い出に出逢えるひとときをお過ごしください。

【日時】 2020年5月28日(木)13:30 開場/14:00 開演
 【会場】 文化の家 風のホール
 【料金】 1,000円(前売チケットのみお菓子付き)
 ※全席自由 ※未就学児入場不可
 【出演】 ロン・メイヤー(ピアノ/ヴォーカル)

ひとりごと

俳句バトルのTV番組で、先生の添削にはいつも感心させられる。「作り手」の思考を想像しながらの添削で、良くなった俳句の明解な解説を聞くと、「へー!なるほど!おみごと!」などの言葉がでてしまう。(さ)

最近ハマっている事

ほっと
すべーす



長久手市在住 I・T

「西郷隆盛ってこんなに素晴らしい人だったの?」と彼に関心を持ったのは、大河ドラマ「せごどん」を見てからだ。それまで上野公園で見た犬を連れた銅像ぐらいでしか知らなかったのが、図書館で西郷に関する本を片っ端から読み始めた。良い面を書いてある多数の本に混じって負の部分を書いてある本にも遭遇した。どちらも真実のようだった。それから興味はさらに進み、徳川慶喜、大奥、大名や奥方たちの出自、維新に活躍した薩長土肥の人物の真の姿などアトランダムに読んでいった。一番共感したのは戊辰戦争での会津藩の悲劇である。会津藩の末裔が靖国神社の宮司に招請されたが固辞されたという。会津藩の戦死者は誰一人靖国神社に祀られていないからだ。勝てば官軍、負ければ賊軍、勝者の都合の良いように歴史は書かれ負の部分は表面に出ない事もあると言う。読み進むうちに著者によって解釈に違いがある事に気づいた。70余年をボーッと生きて来た私にとって著者に感化され易いが、だからこそ歴史は面白いと思う。幕末から維新にハマって、まだまだ序の口。この楽しみを消さないようにしたいものだ。